

天皇陛下のおことば

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の総合開会式に、全国各地から参加された選手、役員、そして開催地である鹿児島県の皆さんと共に出席できることをうれしく思います。

当初、令和2年に、ここ鹿児島の地で開催される予定であった第75回国民体育大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、この度、特別国民体育大会として開催されることとなりました。これまで、様々な困難の中で大会開催のために準備を重ねてこられた多くの皆さんの努力に深く敬意を表します。

鹿児島県で国民体育大会が開催されるのは、昭和47年以来51年ぶりのことと聞いております。ここに集う選手の皆さんには、日頃の練習の成果を十分に発揮されるとともに、お互いの友情を育み、地元鹿児島県の皆さんとの交流を深められるよう願っております。

今年は、奄美群島が日本に復帰してから70年を迎える節目の年でもあります。このような大変意義のある年に、鹿児島県民をはじめ、多くの人々に支えられて開催されるこの特別国民体育大会が、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴する大会として、皆さんの心に残る、実り多い大会となることを期待し、総合開会式に寄せる言葉といたします。

